



北中の翼

《 令和3年度 11月号 》
天城町立北中学校

スローガン ～感動 夢 一人一人が輝け 躍進北中！～

「 一念の強さ 」

校長 政岡 健作

今は昔、2200年ほど前の中国に、李広（りこう）という弓道に長けた将軍がいました。李広将軍は、幼い時、母親を虎に食い殺されており、いつか母親の仇をとりたいといつも思っていました。

ある日の夕暮れ時、李広将軍が竹林を馬上で通っていると、虎陰が面前にありました。ついに母親の仇をとる時がきた。将軍は全神経を集中させ、渾身の力をこめて弓を引き、矢を放ちました。

確かな手応えを感じた将軍は、すぐさま虎の側へと駆け寄り、見ると、それは虎ではなく、虎に似た石でした。矢は、羽ぶくらまで石を貫いていました。

「なんと、こんなことができるとは。」

将軍は試しに、再びその虎に似た石めがけて、矢を放ちました。しかし、それが石と知ってからは、矢は石を貫くことはありませんでした。

このことから、後に人々は、李広将軍のことを石虎（せつこ）将軍と呼んだそうです。

この故事は、自己の強い一念が、石をも貫くということを教えてくれています。一念岩をも通す強い信念をもって物事に当たれば、どんな事でも成し遂げることができるということです。

3年生の皆さん、高校受験の日が近づいてきましたね。三者面談も終わり、志望校を確定し、いよいよ願書を取り寄せる準備が始まりました。今、どんな思いで日々を過ごしていますか。まさか、今となっては「神頼み」となっていないでしょうか。

しかし、先人の言葉に、「必ず心が堅固であってこそ神の守護も厚い」とあります。つまり、神の守護といっても、人の心が強いことに依るということを意味しているわけです。心こそ大切なのです。深く心に思う一念を堅持することが大切なのです。

さあ、3年生全員が石虎将軍となって、全神経を集中させ、受験日のその日まで勉強と向き合って、高校受験を乗り越えていきましょう。それが、自らの人生を切り拓いていく、はじめの一步です。

私は、3年生の皆さんの代わりに受験はできないので、心からの応援だけはしたいと思っています。「気張れ！3年生」

生徒会任命式・引継式

11月1日(月)に3年生から、2年生へと生徒会のバトンが引き継がれました。これまでの先輩方が築いてきた良き伝統を、新役員を中心に2年生と1年生がしっかりと受け継ぐとともに、新たな北中を創生し、躍進させてくれるものと期待します。



【新生徒会役員】

会長：芝 日向さん
副会長：奥山 壱城さん、峰岡 歩嬉さん
書記：福林 佑基さん、麓 優翔さん

薬物乱用防止教室



11月10日(水)、学校薬剤師の吉田 明吉 先生をお招きして薬物乱用防止教室を行いました。

薬の飲み方について、水以外の飲料を使って服用した際に化学変化が生じることを実験を通して分かりやすく教えていただきました。

また、身近な市販薬も使用方法を誤ってしまうと薬物の乱用につながることやタバコ・アルコール飲料といったものの身体への有害性についても教えていただきました。

SOSの出し方・受け止め方教室

11月11日(木)に、SOSの出し方・受け止め方の第一人者である高橋 聡美 先生をお招きし、家庭教育学級「SOSの受け止め方教室」を行いました。翌日の12日(金)には、2・3年生を対象に「SOSの出し方教室」を実施していただきました。



どちらも高橋先生ご自身の様々な経験を通したお話で大変分かりやすく、何よりも自尊感情を大切にする方法をそれぞれの立場で的確にお話いただきました。

(感想など裏面に掲載)

親子人権教室

11月25日(木)、天城町人権擁護委員の友野 みどりさん、禎 政代さん、福田 博美さんをお招きして、親子人権教室を行いました。

前半は、NTTドコモのご協力を得て、リモートによる「スマホ・ケータイ安全教室(応用編)」を通して、SNSの危険性(リスク)を認識すること、投稿する前に未来を想像することなどについて学習しました。他にも、写真などを撮影する際の注意点として肖像権に関する話題もありました。



人権擁護委員からは、いじめのない「北中であることを信じています」とのあたたかいメッセージが送られました。お互いの人権を尊重し、躍進できる北中にしていきたいと思います。(保護者感想を裏面に掲載)

～ 入賞おめでとう ～

徳中体連新人総体

サッカー競技 第1位

柔道競技

団体 第1位

個人無差別級 第2位 義田 朔也
個人無差別級 第3位 岩山 優辰
個人無差別級 第3位 前田 陸人

ソフトテニス競技

個人戦 第3位 稲村 さら、向井 智彩

野球競技 第3位

12月の行事予定

1日(水) B校時、6校時カット
2日(木) 第2回学校評議員会

6日(月) 6校時カット、学校集金日(～8日)
8日(水) B校時、定時退校日
10日(金) B校時
11日(土) 土曜授業、校内持久走・駅伝大会
13日(月) 6校時カット
14日(火) 全校朝会、校内持久走・駅伝大会(予備日)
15日(水) B校時、定時退校日
17日(金) B校時、食育の日、3年;校外学習
18日(土) 青少年育成の日
19日(日) 思いやりグリーン作戦の日
20日(月) 6校時カット、ノーメディア取組確認日
22日(水) B校時、学校専門委員会、スクールカウンセラー来校
23日(木) 6校時カット
24日(金) 終業式、大掃除、(午前授業、給食あり)
27日(月) 冬季休業
28日(火) 仕事納め

SOSの受け止め方教室【感想】

今日から子どもを褒める生活へ。子どもを丸く受け止めて、寛大になれるように、子どものこれからの可能性を広げていけるように支えていきたいと思いました。先生の話はとても心に響きました。ありがとうございました。

笑いあり、涙ありの教室で、1秒も聞き逃すことなく参加できました。また、もっと多くの大人に聞いてもらいたいです。毎年でも聞きたいです。今日からさっそく子どもとの会話に活かしていきたいです。

子どもをコントロールしている大人のモデルだと自分です。人の子どもには、傾聴し、寛大になれるが、我が子となるとかなり厳しい親だと思ってしまう。本当に反省です。少しでも自分が寛大になれるよう、資料を見ながら今日の内容をパートナーに伝えます。

講師の先生の言葉一つ一つに釘付けでした。心にしみました。受容・傾聴、仕事の中ではやっているのにいざ家庭内に入ると忙しさに追われて、反省の言葉を言ってしまうなあと感じます。止まり木になれる親に、大人になりたいです。

プロジェクターに出てくる親のセリフが、ぐさぐさと胸にさりました。まるっと子どもの感情をまず受け止め、話を聞いていきたいと思いました。他の出席できなかった保護者の皆さんにも発信できたらと思います。

最高でした。子どもの意見もしっかり聞いて、お互いが自尊感情を高めていけたらいいなあと思います。子どもたちのSOSをしっかり受け止め、安全な生活を送りたいと思います。

とても勉強になる1時間でした。話を聞いていてすごく耳の痛い思いでした（笑）。子どもの話を良く聞いて、子どもが、ニコニコ笑って過ごしていけるよう家に帰ってパートナーにも教えてあげたいです。お話し聞きに来られて良かったです。ありがとうございました。

すぐに怒りは生まれないという言葉が印象に残りました。怒りの原因を探り、自分を主語にして話していきたいと思いました。これからは、私たちの想像を超える時代ということも納得しました。コントロールしようと考えすぎないようにしていきたいです。

子どもの自殺の原因が家族や周囲の大人の関わり方によるものが大きいとあり、すごく考えさせられました。受容傾聴についても、しているつもりでついつい、ジャッジ・アドバイスが先になってしまうことも多く、反省したところです。子どもたちだけでなく、周りの友人や同僚からSOSを出してもらえよう人になれるよう、寛大な心をもてるように心掛けていきたいです。

SOSの出し方教室【まとめ】

【まとめ】

- * 自尊感情には「社会的自尊感情」と「基本的自尊感情」の2つがあります。
- * 失敗したときでも支えてくれるものを誰でも持っています。
- * レジリエンスをたくさん持ってください。
- * ストレス対処法をできるだけたくさん持とう。
- * ポジティブワードを使って心地よい環境を作ろう。
- ☆ **困ったときは、3人まで大人に相談しよう！**

【生徒感想】

- * 今日は、SOSを出すことの大事さや、リフレーミングをすることによって、今までは短所だと思っていたことも、長所になり、とてもよかったです。できるだけ、ポジティブワードを使っていきたいです。
- * アンパンマンを使って説明してくださって、とても分かりやすかった。これから極力、悪い言葉ではなく、優しい言葉をより多く話したいと思う。
- * 自分の欠点をポジティブに捉えたり、「自分が大変な時にどうしたらいいかを再確認して、改めて自覚したので、そういうことを自分の生活に取り入れていきたい。
- * こういう授業を今まで受けたことがなかったので、とても勉強になりました。これからも、自立するためにたくさん悩んだりすることがあると思うけれど、今日の授業で習ったことを活かして、自分としっかり向き合っていこうと思いました。私も、他の人たちのレジリエンスになれるようにしたいです。ありがとうございました。

親子人権教室【保護者感想】

子どもたちが少しでもネット社会の安全、危険な事に気付いてくれたらと思う。日常でもスマホ・タブレットを使用するので、友だちや周りの方との接し方を考える機会になったと思う。

オンラインが不慣れで反応しづらいですね。もっとオンラインが活用されると良いと思います。SNSでの責任をしっかりと考えることは大切だと感じます。

被害者となった子どもに親もしくは大人が相談を受けた時、親や大人にできることは何か考えてほしいです。SNSの被害にあった時。SNSのいじめにあった時など。

「SOSの受け止め方教室」、「親子人権教室」にご参加いただいた保護者の皆さん、ありがとうございました。

聖火リレー、トーチ紹介

4月27日(火)に奄美市で開催された東京2020五輪聖火リレーに、天城町の代表として参加された深見陽市先生から天城町教育委員会社会教育課に聖火リレー当日に使用したトーチやウェアなどの紹介がありました。

11月26日(金)には、北中学校に実物が届き、昼休みの時間を利用して、生徒への紹介を行いました。

貴重な物を直接持つことができる機会とあって、少し緊張しつつも実物の重さを体験することができました。

貴重な機会を与えてくださった深見先生に感謝したいと思います。

